

## 市民センターを拠点とした地域づくりについて

### 1. 地域づくりの方向性

市民センターは「年齢や性別に関係なく気軽に集まれる場所（つながりづくりの拠点）」  
そのために「各世代の交流、世代間の交流につながる事業」を展開し、地域コミュニティ  
の活性化を図る

視点

少子化、高齢化、後期高齢者社会への対応
地域住民主体・持続可能

### 2. 具体的な取組案

#### (1) 内牧の特徴を活かした交流の場・機会の創出事業

- ・農産物直売会・朝市など
- ・子供達の体験学習（芋掘り、梨狩り、田植など）
- ・高齢者による放課後活動支援
- ・内牧のお神輿を活用した事業

#### (2) 地域住民の健康維持・増進事業

- ・内牧公園でウォーキング
- ・カラオケ大会
- ・健康づくりスポーツ大会

#### (3) 文化的活動事業

- ・（体育祭のように）自治連企画による文化祭のような事業

#### (4) 各種団体等への加入促進事業

### 3. 課題

- ・児童の放課後利用
- ・市民センター駐車場拡充
- ・移動手段（市民センター利用、買い物など）
- ・ボランティアの確保（有償ボランティアも含めて）
- ・地元企業も巻き込む（商店、果樹園、農園など）
- ・企業等も地域づくりの一員として参加できる仕組み（基準等）
- ・市民センターにおける販売活動の基準の明確化

### 4. 情報発信

- ・お互いに助け合う心を醸成するような発信
- ・地域の活性化に常日頃から意識を持つような発信

## 防災の拠点としての市民センター

内牧市民センターは災害時には住民が安心できる避難所となる

視点

住民参加による防災拠点づくり
----------------

防災士を中心に市民センター防災組織の編成・避難所開設訓練

内牧地区の防災士を中心とした市民センター自主防災組織の編成

災害時には、避難所としての役割を十分に発揮できる

車イスや AED を取り入れた訓練の実施

地域・学校との合同防災訓練

十分な備蓄（食料、水、簡易トイレ、毛布等）